

母校発展のために



東京白門ライオンズクラブ結成10周年記念大会

世界的な社会奉仕団体「ライオンズクラブ」傘下の東京白門ライオンズクラブ結成10周年記念大会が2月16日、東京・丸の内の東京會館で盛大に行われた。

中央大学卒業生が母校に「何か貢献したい」の一念から、2005年3月に発足。活動目標は教育施設充実への援助や育成資金の助成など、母校の発展に寄与することとしている。

クラブのスローガンは「白門の絆を奉仕で結ぶ母校愛」。

記念大会には、中山正暉大会名誉会長(昭和30年卒)、榎秀郎大会会長(同36年卒)、鈴木誠大会実行委員長(同33年卒)のほか、大学側から福原紀彦学長らが出席した。

結成10周年記念事業として発表されたのは、次の11項目。

- ① 母校中央大学に学ぶ東日本大震災被災者救援育成支援金として金一封
- ② 公益財団法人日本骨髄バンクへ支援金として金一封
- ③ 本学に学ぶ優秀な大学院生1名に対し、学術奨励賞として表彰状および金一封の授与
- ④ 附属高校4校の優秀な生徒22名に対し奨励賞として表彰状および記念品の授与
- ⑤ 箱根駅伝を中心とした陸上競技部へ支援金として金一封
- ⑥ 硬式野球部へ支援金として金一封
- ⑦ 水泳部へ支援金として金一封
- ⑧ 中央大学高等学校に屋外用掲示板一式贈呈
- ⑨ 中央大学杉並高等学校にテント2張り贈呈
- ⑩ 中央大学附属高等学校にテント2張り贈呈
- ⑪ 中央大学附属横浜高等学校図書室に百科事典一式贈呈



中央大学杉並高の巽千紘さん

受賞者を代表して、中央大学杉並高の巽千紘さんが感謝の言葉に続けて、「大学へ貢献します」とあいさつした。

記念演奏会も行われ、歴史ある中央大学杉並高吹奏楽部が祝典序曲などを演奏した。

会場には、五大学ライオンズクラブの日本大学、立教大学、明治大学、法政大学のメンバーが参加した。



鈴木大会実行委員長



中山大会名誉会長(左)、榎大会会長



福原学長